

## I 平成29年度定時社員総会

去る6月13日、平成29年度定時社員総会が開催され、社員総数106のうち、出席社員、代理出席社員、書面表決社員の計83で、決議に必要な過半数の出席を満たすとともに第4号議案の定款の一部変更に必要な定款第17条第2項（定款の変更の議決は、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。）の議決権数を併せて満たしておりますと報告し、次の議案の審議が行われた。

### 第1号議案 平成28年度事業の報告について

#### 平成28年度事業報告

##### 1. 防錆に関する調査研究を行う事業

###### 1.1 防錆防食材料部会（部会長 スギムラ化学工業(株) 川地秀一殿）

防錆防食材料部会は、27社、34名の会員により次の事業を行った。

###### (1) 部会事業

防錆防食材料部会は、平成28年度通常総会を機械振興会館において開催した。

###### (2) 防錆油剤分科会（分科会長 スギムラ化学工業(株) 川地秀一殿）

防錆油剤分科会は、JIS K 2246（さび止め油）の改正素案を作成すると共に、協会に当該JISの改正事業に着手するよう要請した。この要請を受けて協会が設置した改正原案作成委員会に生産者組織として情報提供をするなどの協力を行った。

###### (3) 気化性防錆材料分科会（分科会長 中部キレスト(株) 諸岡祐弥殿）

欧州REACH/CLP規則についての検討会を開催したほか、気化性防錆材料に関連するJIS Z 0303（さび止め包装方法通則）、JIS K 2246（さび止め油）の規定内容について検討し、改正の要否について気化性防錆材料業界としての統一見解をまとめた。

###### (4) 被覆防食材料分科会（分科会長 北日本防食(株) 山崎敏男殿）

平成28年2月に一般財団法人日本規格協会を経由して経済産業省に答申したJIS Z 1903（ペトロラタム系防食ペースト類）改正原案について、一般財団法人日本規格協会の規格調整会議並びに経済産業省の工業標準調査会に出席して意見を述べるなど、規格改正に向けて活動した。

###### (5) 自動車用化学製品分科会（分科会長 大同化学工業(株) 足立 尚殿）

自動車用化学製品分科会は、部会事業に協力した。

###### 1.2 溶射部会（部会長 芝浦工業大学 植松 進殿）

溶射部会は、防錆防食溶射の施工技術並びに皮膜品質の向上を図ることを目的に活動を行った。

1986年（昭和61年）に千葉県千倉市で開始した鋼管の暴露試験は、平成28年5月で30年を迎え、6月20日、21日の両日、外観観察、膜厚測定、写真撮影を行った。当調査には、大阪府立大学 東 健司殿ほか3名も参加し、部会員と溶射皮膜の特性についての意見交換を行った。また、平成29年度に大阪府立大学と共同実験を行う検討を行った。

###### 1.3 腐食コスト調査研究

平成28年11月に公益社団法人腐食防食学会と事務局会議を開催し、委員会構成（評価委員会並びに7分野の分科会からなる運営委員会の設置）、審議日程などについて基本

合意し、委員依頼を行った。

## 2. 防錆に関する技術者の養成を行う事業

### 2.1 防錆技術学校

#### (1) 第56回防錆技術学校

第56回防錆技術学校（施設防食科、防錆塗装科、防錆塗装科別科、めっき科、防錆包装科の5科で構成）は、経済産業省、国土交通省、日本商工議所の後援を受けて、広く産業界より受講者を募り、370名の受講者を迎えて4月1日に開校した。

1年間の教育は、通信による教育と講師による直接指導を行い、基礎内容の理解を助ける学習指導は、5月に東京、大阪で、専科の理解と共に最新情報を提供する面接講義は、9月に大阪、10月に東京で実施した。また、面接講義では、実力判定の筆記試験、面接講義時の理解度確認試験を行った。

専攻科目終了時には、学習の集大成である認定論文の審査、及落判定会議を経て、333名の修業者及び335名の防錆管理士資格者を認定した。

その結果、創設以来の修業者総数15,003名、防錆管理士総数14,824名に達した。

第56回防錆技術学校 修業・認定者数

専攻科	受講者数	修業者数	管理士認定者数
施設防食科	74	68	68
防錆塗装科	156	135	140
防錆塗装科別科	70	65	63
めっき科	38	34	34
防錆包装科	32	31	30

平成29年3月3日開催の修業式においては、羽田隆司会長より修業証及び防錆管理士認定証の授与を行うと共に、成績優秀者に対し最優秀賞（5名）、優秀賞（30名）、優秀論文賞（13名）を贈り表彰した。

また、修業式に先立ち、優秀論文の中から、防錆塗装科「オーブンブラスト施工における研削材の評価と今後について」山川産業(株) 河原淳人殿、防錆包装科「包装仕様構築に向けた2サイクル換算表の作成について」本田技研工業(株) 草薙英治殿の2編の論文発表を行った。

#### (2) 防錆技術学校教材

防錆技術学校の教材は、施設防食科の大幅な見直しを行ったほか、防錆塗装科 鋼構造物塗装関連（委員長：守屋 進殿）に重点を置き改訂を行った。

また、防錆防食技術が広範囲にわたる技術であることから、最新情報及び受講科以外の技術情報を習得するため、月刊技術誌「防錆管理」を副教材として配布した。

### 2.2 防錆管理士会（会長 大野 茂殿：会員数343名）

防錆管理士会は、国内に5支部を置き次の事業を行った。

#### (1) 本部事業（幹事長 (株)竹中工務店 長谷川完殿）

防錆管理士会は、平成28年度通常総会並びに記念行事を九州支部の企画・運営により

福岡電気ビル共創館において開催した。記念行事は、「接着現象の分子論」九州大学教授 吉澤一成殿、「福岡・北九州都市高速道路における防食に関する取り組み」福岡北九州高速道路公社 調査役 片山英資殿の講演と合わせて懇親会を開催し、会員相互の交流を深めた。

- (2) 東日本支部（支部長 日本大学 酒井哲也殿、副支部長 (株)ケット科学研究所 久保興一殿)

東日本支部は、協会と共催で「平昌オリンピックへの挑戦状～下町ボブスレー～」下町ボブスレーネットワーク推進委員会委員長 國廣愛彦殿など2件の講演会を開催した。

また、見学講演会として横浜ガルバー(株)小山工場の見学と「溶融亜鉛めっき」の講演会、東京湾アクアライン橋梁部箱桁内部及び下部工検査路の見学と「東京湾アクアライン橋梁部の腐食状況と対策」の講演会を開催した。

講演会としては、「分散剤について」キレスト(株) 成見和也殿、「インヒビターや陰イオンの作用と硬い及び軟らかい酸塩基の法則及びインヒビターの作用を応用したナノテクノロジー」慶應義塾大学 荒牧國次殿の2件の講演を行った。

- (3) 東海支部（支部長 (株)興和工業所 津坂峯隆殿)

東海支部は、協会中部支部と共催で「沖縄地域における腐食防食の現状と課題」琉球大学 屋良秀夫殿の講演会を開催した。

- (4) 西日本支部（支部長 (株)タツタ環境分析センター 長沼 仁殿)

見学と講演の会として同志社大学を見学すると共に、「トライボロジー（摩擦学）の世界」同志社大学 平山朋子殿の講演及び技術交流会を開催した。また、(株)クボタ 恩加島事業センターの見学と技術交流会、オーエム工業(株)泉北工場の見学と技術交流会を開催した。

- (5) 九州支部（支部長 (有)宮寄塗装工業 宮寄 香殿)

九州支部は、4月の熊本地震に見舞われた会員がいるなか、6月の防錆管理士会通常総会開催に力を注ぎ、開催担当支部として尽力した。

- (6) 沖縄支部（支部長 (株)エムテック 宮城 肇殿)

講演会として「通信設備用塗料における長期信頼性評価に向けた取り組み」日本電信電話(株) 三輪貴志殿、「電力流通設備の腐食防食」東京電力ホールディングス(株) 市場幹之殿の講演会と交流会を開催するほか、新糸満造船(株)の修理造船ドックヤード及び施設の見学会と交流会を開催した。

### 3. 防錆に関する日本工業規格及び国際規格の制定及び普及に協力する事業

#### 3.1 国際規格

平成26年度にISO新規提案に応募し、3年間で成果を出すための最終年度となる平成28年度は、前年に引き続き、工業標準化推進事業委託費（戦略的国際標準化加速事業：政府戦略分野に係る国際標準開発活動 テーマ名：ブラスト処理用非金属系研削材の国際標準化）として業務を経済産業省から三菱総合研究所を經由して受託した。国内委員会は、24名の委員（委員長 日本大学 大野 茂殿）で構成し、委員会を3回、立ち合い試験を1回開催した。

フェロニッケルスラグ研削材と製鋼スラグ研削材のブラスト処理用非金属系研削材を ISO 規格にする目的で活動し、国際会議への提案内容について審議した。提案に当たり、ブラスト処理後の鋼材表面状態のデータを取得し、塗装後の塗膜耐久性を評価するため、日本ペイント(株)殿の協力のもと、促進試験、暴露試験(2年間継続の予定)を行い、平成29年2月に成果物を提出した。また、ISO/TC35/SC12における回答原案を作成した。

### 3.2 日本工業規格

#### (1) ペトロラタム系防食ペースト類

平成28年2月に当協会が一般財団法人日本規格協会を經由して経済産業省に答申したJIS Z 1903(ペトロラタム系防食ペースト類)改正原案は、経済産業省の工業標準調査会の審議を経て平成28年12月20日付けで改正、公示された。

#### (2) 防錆油

防錆防食材料部会・防錆油分科会が作成したJIS K 2246(さび止め油)改正案について、一般財団法人日本規格協会のJIS公募制度に応募したところ、経済産業省の指導により平成28年度事業(平成28年12月~29年11月)として認められた。

平成28年12月にJIS K 2246(さび止め油)改正原案作成委員会(委員長 日本大学 竹島正博殿)を組織し、平成29年10月答申に向けて審議が開始された。

#### (3) JISハンドブック

一般財団法人日本規格協会が編集発行する「金属表面処理JISハンドブック」の編纂委員会に委員を派遣し、当協会が原案作成したJIS規格の編集を中心に協力した。

## 4. 防錆に関する参考図書及び資料を作成し、又はこれを配布する事業

### 4.1 機関誌「防錆管理」

月刊技術誌「防錆管理」の編集委員会(編集委員長 建設塗装工業(株) 江成孝文殿)は、分野別専門家16名の委員で構成し、12回の編集委員会で検討を重ねながら、60巻4月号より61巻3月号までの12号を発行した。

「めっき技術の最新動向」「塗料解説講座」「モニタリング講座」を連載するほか、防錆防食専門分野ごとのテクニカルレポート、解説、行事報告などを掲載し、会員相互の情報交換の場としての役割を担っている。

### 4.2 書籍販売

「腐食抑制剤の作用と応用」(著者 慶応義塾大学名誉教授 荒牧國次殿)の改訂版発行を行った。また、現有11タイトルの書籍販売に努めた。

## 5. 防錆に関する文献、資料及び情報の収集を行い、これを閲覧に供する事業

### 5.1 防錆防食技術発表大会

第36回防錆防食技術発表大会実行委員会(実行委員長 元港湾空港技術研究所 阿部正美殿、副委員長 新日鐵住金(株) 原田佳幸殿)は、専門分野ごとの委員21名で構成し、平成28年7月7日、8日の2日間、東京・御茶ノ水の「東京ガーデンパレス」において281名の参加者を得て開催した。

特別講演は、「テラヘルツ・サブテラヘルツ波を用いた非破壊検査応用」東北大学大学院 教授 小山 裕殿、「軍艦島における鉄筋コンクリートの耐久性評価」鹿児島大学 准

教授 審良善和殿の2件を、「いまさら聞けない用語」は、「電気防食」日本防蝕工業㈱ 技術研究所 田代賢吉殿に講演いただくとともに、技術発表25件、腐食事例と対策2件、製品技術発表1件が発表された。

また、映画は「阪神高速道路 大規模補修工事 明日へとつなぐ8日間」を上映した。

若手技術者発表賞は、39才以下の方を対象に、事前登録された発表者に対して、発表手法を主に審査を行い、ローバル㈱ 中村健一殿、日本電信電話㈱ 石井 梓殿、非破壊検査㈱ 田中隆介殿、鹿児島大学 藤元祐行殿の4名の方を表彰した。

なお、大会開催で回収したアンケート結果は、機関誌「防錆管理」60巻12月号から概要を報告した。

## 5.2 インターネットによる情報の提供

使用していたプロバイダーのホームページサービスが7月に終了することに伴い、6月より <http://www.jacel.or.jp> に変更し、当協会活動状況の情報公開（事業計画・収支予算書、防錆技術学校、防錆防食技術発表大会、出版物、各部会、防錆管理士会行事の紹介など）を行った。

また、防錆管理士資格者の所在不明者名簿を掲載し、情報の提供を求め、逐次修正を行った。

## 6. 防錆に関する参考材料の展示を行う事業

### 6.1 2016洗浄総合展

平成28年10月19日～21日の3日間、東京ビックサイトにおいて開催された「2016洗浄総合展」（主催 公益財団法人日本洗浄技術開発協会ほか）に協賛すると共に、2小間の展示ブースの提供を受けて当協会の活動紹介、防錆技術学校の広報、出版物販売、防錆技術啓蒙資料の展示、技術相談を行った。3日間の来場者数は30,922名であった。

### 6.2 防錆防食技術発表大会カタログ展示コーナー

平成28年7月7日、8日の2日間、「東京ガーデンパレス」において開催された第36回防錆防食技術発表大会の会場に「カタログ展示コーナー」を設置し、防錆防食関連のカタログを展示して会員並びに来場者に技術情報の提供を行った。

## 7. 防錆に関する技術相談を行う事業並びに研究の受託及び委託を行う事業

防錆に関する2件の試験研究を受託し、会員からの要望に答えた。

## 8. 防錆に関する技術向上のため発明、研究に対する顕彰を行う事業

本年度の該当事業はなかった。

## 9. 防錆に関する事項について国会、政府その他に対し意見を開陳する事業

本年度の該当事業はなかった。

## 10. 本会の目的を達成するために必要な事業

### 10.1 本部事業

総会 平成28年6月14日、機械振興会館において定時社員総会を開催した。

理事会 平成28年5月25日、11月10日、平成29年3月28日に機械振興会館において通常理事会を開催した。

講演会 平成29年1月27日、東京カーデンパレスにおいて防錆管理士会と共催で新春

技術講演会を開催し、「重防食塗装—水性化の現状と今後について—」一般社団法人日本塗料工業会 大澤隆英殿など2件の講演を行った。

交歓会 平成29年1月27日、東京カーデンパレスにおいて「新春のつどい」を開催した。

## 10.2 支部事業

中部支部、関西支部並びに沖縄支部の3支部は、それぞれに活発な活動を行い、地域の防錆防食技術の向上と普及に努め、地域経済の発展に大きく貢献した。

### (1) 中部支部（支部長 名古屋大学 市野良一殿）

総会 平成28年7月5日、あいち産業科学技術総合センター産業技術センターにおいて通常総会を開催した。

幹事会 平成28年7月5日、あいち産業科学技術総合センター産業技術センターにおいて幹事会を開催した。

講演会 平成28年5月20日、7月5日に講演会を開催し、「X線応用解析セミナー -応力解析の最前線-」(株)リガク 根津暁充殿をはじめ2件の講演を行った。

その他 一般社団法人表面技術協会中部支部主催の平成28年度表面技術若手研究者・技術者研究交流発表会（平成28年12月5日）に協賛した。

### (2) 関西支部（支部長 一般社団法人日本防錆技術協会 羽田隆司殿）

総会 平成28年6月6日、難波市民学習センターにおいて通常総会を開催した。

幹事会 平成28年6月6日、平成29年2月6日、難波市民学習センターにおいて幹事会を開催した。

幹部会 平成28年12月20日、難波市民学習センターにおいて幹部会を開催した。

講演会 平成28年6月6日、8月24日、9月21日に講演会を開催し、「自動車用電着塗料」関西ペイント(株) 杉崎勝久殿など5件の講演を行った。

見学会 平成28年8月24日にサントリービール(株)京都工場、9月21日に大阪府立大学放射線研究センター他の見学会を開催した。

講習会 平成28年5月26日、10月28日、12月8日に大阪府立産業技術総合研究所において、「金属腐食の基礎と電気化学測定（講義と実習）」を実施した。

### (3) 沖縄支部（支部長 琉球大学 屋良秀夫殿）

総会 平成28年6月24日、沖縄船員会館において通常総会を開催した。

幹事会 平成28年4月1日、第1回幹事会を開催した。

講演会 平成28年11月25日に講演会を開催し、「通信設備用塗料における長期信頼性評価に向けた取り組み」日本電信電話(株) 三輪貴志殿など2件の講演を行った。

見学会 平成29年2月10日に新糸満造船(株)の見学会を開催し、併せて「新糸満造船における修理造船ドックヤード」新糸満造船(株) 謝花喜保殿の講演を行った。

その他 平成29年1月24日に防錆技術相談を実施した。

## 10.3 関係省庁及び関係団体との協力事業

関係省庁及び関係団体の要請により8件の機関に役員、委員を派遣した。